令和８年度 全国学力・学習状況調査結果及び分析・対策　　【松江市立 美保関中学校 】

(1)学力調査結果から見られた傾向

教科		分析(成果〇，課題●)	改善策(・)
国語	成果	〇文法事項については県・全国平均を上回り、基礎的な知識・技能に強みがみられる。	・文章を読み、「分かったこと→根拠→自分の考え」を短く書く活動を行う。 ・書いた文章について友達や教師から助言を受け、改善する活動を取り入れる。 ・語句の意味を調べるだけで終わらせず、文脈の中で使う短作文等を継続して行う。
	課題	●記述式の設問では、正答率だけでなく無解答率も県・全国と比較して高く、文章を読み取った上で、自分の考えや根拠を文章で表現することに課題がみられる。	
数学	成果	〇「数と式」では正答率が50%を超え、選択式・短答式の問題では比較的答えやすく、無回答率も低い。	・計算や既習事項について、短時間の反復確認を行い、知識・技能の確実な定着を図る。 ・文字式を用いた説明を読み、式が何を表しているか、なぜその式になるかに着目して、式と文章を関連付けて理解する活動を取り入れる。
	課題	●知識・技能の定着に課題が見られる。また、文字式を用いた説明の理解に課題が見られる。	
英語（成果または課題で話すことについて触れること）	成果	〇「話すこと」の一部の設問では、県・全国平均を上回っており、身近な場面で英語を用いてやり取りする力に強みがみられる。	・既習の語彙・表現を繰り返し活用する活動を充実する。 ・small talk等で「考え＋理由」を話した後、それを短い英文で書く活動を継続する。
	課題	●「読むこと・書くこと」に課題が見られる。また、自分の考えを理由とともに整理して伝える力に課題が見られる。	

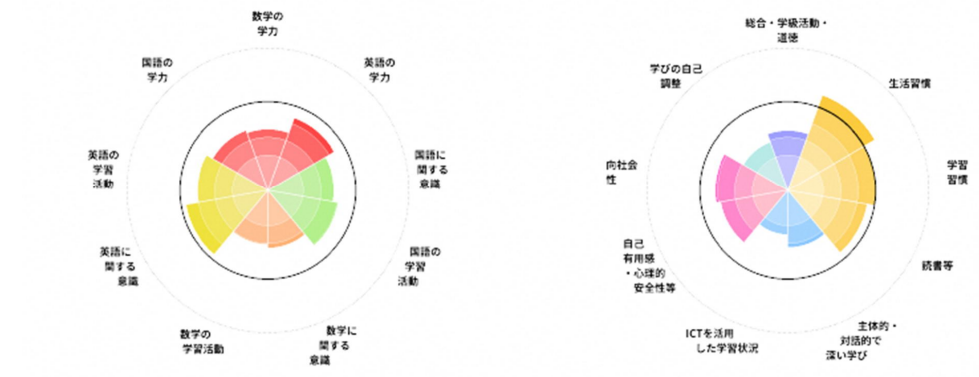
(2)質問紙調査から見られた傾向

		分析(成果〇：強み/伸ばしたい点，課題●：弱み)	改善策(・)
質問紙	成果	〇自己有用感や他者貢献意識が高い。総合的な学習の時間において、自分で課題を立て、情報を集め、整理し、発表する学習経験をしている生徒の割合が全国を上回っている。	・生徒が自ら課題を設定し、考えを深め、他者と交流しながら学びを進める授業を充実させるとともに、その過程でICTを目的に応じて効果的に活用する。 ・生活時間を振り返り、学習・読書・睡眠・メディア等の時間配分を自分で考え、調整する機会を定期的に設ける。
	課題	●長時間のSNSや動画視聴、将来の夢や目標、授業におけるICTの活用、課題解決への主体的な姿勢、話合い活動の充実に課題が見られる。	

(3)その他、今後校内研究等学校全体で特に力を入れて取り組むこと

学校全体	〇基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図るとともに、学びの過程「問い・思考判断・表現・振り返り」、「試行・修正・再挑戦」を重視した授業を実施する。 〇思考ツールや論理的表現の型を活用した指導を実施し、思考を可視化して整理し、他者にわかりやすく表現する力を育成する。 〇授業や家庭学習において、学習したことを振り返り、自分の理解や課題を自覚する機会を設け、主体的に学ぶ力の育成につなげる。 〇家庭学習や読書、メディア利用等の生活習慣を振り返り、時間の使い方を調整するコーチングを行う。

(4)学力・学習状況調査結果チャート(破線は全国平均)



【受検者数】

29 名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。

(5)質問紙調査の結果より(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています。)

